PC-9800シリーズ
MS-DOS3.3D 拡張機能セット
本製品の内容と取り扱いについて

はじめにお読みください

091193-286-001

本製品の内容と取り扱いについて

はじめに

本製品（MS-DOS 3.3 D 拡張セット）は，MS-DOS 3.3 D（PS 98-1002－X 2）の機能拡張用セットです．

本製品には，MS-DOS を起動して運用するためのシステムファイルは含まれていません．

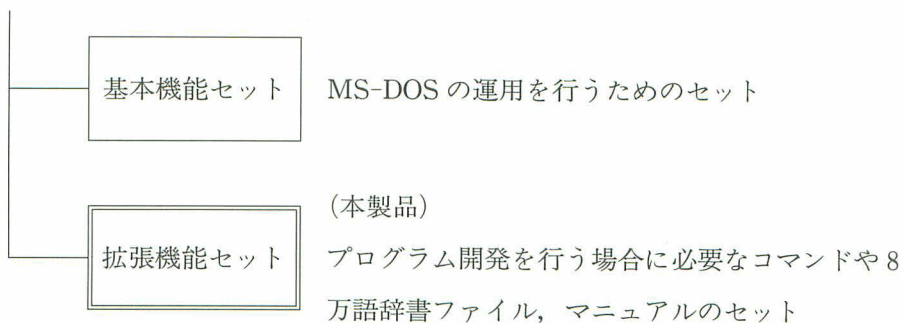
必ず基本機能セットと対でご使用ください．

目　　次

1．製品の構成

1-1．MS-DOS の製品構成

MS-DOS 3.3 D は，以下のような製品構成になっています．

MS-DOS 3.3 D

1-2．標準セットの製品構成

本製品には，次の物が含まれています．

① フロッピィディスク

・MS-DOS 3.3 D 辞書ディスク，プログラム開発ツールディスク

1メガバイトタイプフロッピィディスク

(3.5 インチ 2 HD，5 インチ 2 HD，8 インチ 2 D) のとき　・・・　2 枚

640 キロバイトタイプフロッピィディスク

(3.5 インチ 2 DD，5 インチ 2 DD) のとき　・・・　3 枚

② マニュアル

・MS-DOS 3.3 D ユーザーズリファレンスマニュアル
・MS-DOS 3.3 D プログラマーズリファレンスマニュアル (Vol.1/Vol.2)
・MS-DOS 3.3 D プログラム開発ツールマニュアル
・MS-DOS 3.3 D 日本語入力ガイド

③ その他

・ユーザー登録カード

2. マニュアルの内容

MS-DOS 3.3 D に含まれるマニュアルは，次のような構成，内容になっています．目的に合わせて有効に活用してください．

MS-DOS 3.3 D インストールガイド（基本機能セットに添付）

・初心者向け―MS-DOS 3.3 D の入門ガイド
運用ディスクの作成方法（インストール），アプリケーションプログラムの登録方法や周辺装置を増設する場合の設定方法について解説しています．

MS-DOS 3.3 D ユーザーズガイド（基本機能セットに添付）

・初心者向け―MS-DOS 3.3 D の活用方法についての入門ガイド
多くの MS-DOS の機能の中からよく使うものや重要な機能，知っておくと便利な機能を選択して，具体的に操作例をあげて解説しています．

MS-DOS 3.3 D 日本語入力ガイド

・初心者～中上級者―日本語入力機能の利用ガイド
システムディスクで提供されている日本語入力機能について，日本語（ひらがなや漢字など）の入力方法と，そのために必要な設定などが解説されています．

MS-DOS 3.3 D ユーザーズリファレンスマニュアル

・中上級者向け
システムディスクで提供されているすべての MS-DOS コマンドに関して，詳細な解説が行われています．ユーザーズガイドで扱われていない，MS-DOS の高度な機能についても解説されています．

MS-DOS 3.3 D プログラマーズリファレンスマニュアル Vol. 1/Vol. 2

・プログラム開発者向け
ファンクションリクエストを中心に，デバイスドライバやファイルフォーマットなど，MS-DOS でプログラムを開発する際に必要となる技術情報が解説されています．

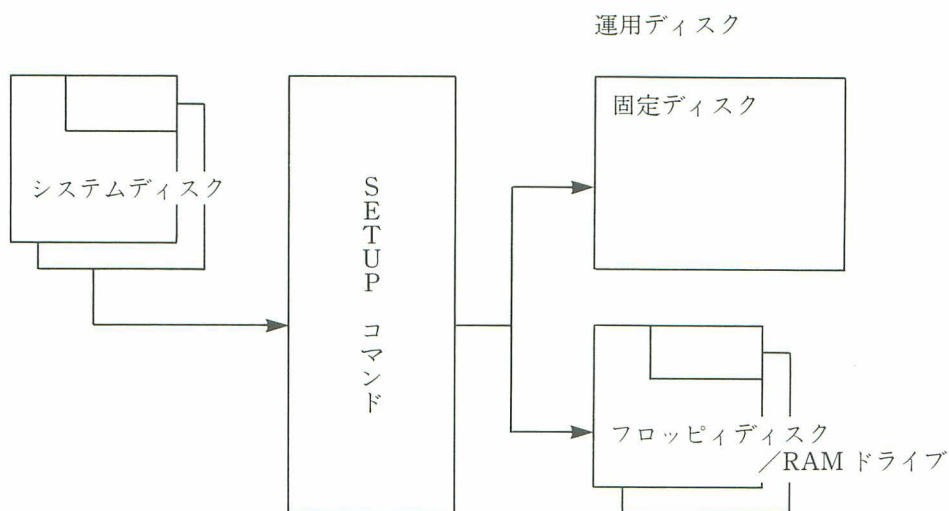
MS-DOS 3.3 D プログラム開発ツールマニュアル

・プログラム開発者向け
プログラム開発に用いるツールであるリンカ（LINK），シンボリックデバッガ（SYMDEB）などについて解説されています．

3.　運用ディスクへの組み込み

3-1.　インストール作業

お買い上げになったMS-DOS拡張機能セットは，システムディスクからMS-DOSを起動することはできません．すでにお買い上げになった基本機能セットより作成した運用ディスクに組み込んでご使用ください．

MS-DOS 3.3 D拡張機能セットを運用ディスクに組み込むには，運用ディスクに含まれるSETUPコマンドを使用します．

(運用ディスクへの組み込み方法)

運用ディスクからシステムを起動し，MS-DOSコマンドメニューの「アプリケーションソフトの登録」を選択するか，MS-DOSコマンドプロンプトの表示されている状態で“SETUP⏎”と入力してください．

SETUPコマンドが起動されると，次のような画面が表示されます．↓キーを押して反転表示を「SETUP. INIによるインストール」に重ね，リターンキーを押してください．

```
MAOIX vx.xx                    Copyright (C) 1991 ASCII Corp. / NEC Corporation.
 iｽｸﾘﾌﾟﾄ 一覧 [A:¥_________________________________________________________]
 SETUP.INIによるｲﾝｽﾄｰﾙ




                    iｽｸﾘﾌﾟﾄの入っているディレクトリを入力してください。
                              ↓でSETUPも選択できます。
      C1   CU   CA   S1   SU     VOID  NWL  INS  REP  ^Z
```

「SETUP.INIによるインストール」の画面が表示されます．以降の作業（ドライブの指定）は運用ディスクが固定ディスクかフロッピィディスクかで異なります．

a．運用ディスクが固定ディスクの場合

SETUPコマンドの最初の画面（ドライブ指定）で，「登録するドライブ」の項目には，運用ディスク（固定ディスク）のドライブを，「アプリケーションのドライブ」の項目には，拡張機能セットのプログラム開発ツールディスクをセットしたフロッピィディスク装置のドライブを指定します．

b．運用ディスクがフロッピィディスクの場合

フロッピィディスクで運用を行っているシステムでは，基本機能セットの運用ディスクに組み込む（コピーする）のではなく，拡張機能セットの運用ディスクを作成します．そのため，運用ディスク用にシステムディスクと同じ種類のフロッピィディスクをシステムディスクと同じ枚数準備しておいてください．

運用ディスクがフロッピィディスクの場合，SETUPコマンドのドライブ指定画面で，「登録するドライブ」の項目には，運用ディスク#1のセットされているフロッピィディスク装置のドライブを，「アプリケーションのドライブ」の項目には，拡張機能セットのプログラム開発ツールディスクをセットしたフロッピィディスク装置のドライブを指定します．

運用ディスク#1がＲＡＭドライブとなっている場合は，「登録するドライブ」にRAM ドライブ，「アプリケーションのドライブ」にフロッピィディスク装置のドライブを指定してください．

※　SETUP コマンドの使い方は，基本機能セットに添付されている MS-DOS インストールガイドに解説されています．

ドライブの指定が終了したら，インストール作業が開始されます．画面に表示される指示にしたがって作業を行ってください．

（注意）

次の場合，SETUP コマンドを用いてフロッピィディスクへインストールすることはできません．

・フロッピィディスク装置が１台の場合
・98 NOTE で，640 キロバイトタイプ（２ DD）のフロッピィディスクを運用ディスクとして使用している場合

このような場合は，次のような方法でインストールしてください．

①　FORMAT コマンドを使用して，システムディスクと同じタイプのフロッピィディスクを同じ枚数だけ初期化する．

②　DISKCOPY コマンドを使用して，①で初期化したフロッピィディスクにシステムディスクをコピーする．

※　SETUP コマンドを使って拡張機能セットを固定ディスクに組込んだ場合，プログラム開発ツールディスクの各ファイルはルートディレクトリにコピーされます．必要に応じてシステムファイルの格納されているディレクトリにコピーして御使用ください．